

かてきょー

令和7年 12月発行
中濃県事務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育担当:塚原
〒501-3756 美濃市生柳 1612-2
TEL: 0575-33-4011 (内線210)



郡上市立郡上東中学校 親子で作ったお弁当

～栄養バランスを考えたお弁当を～

郡上市立郡上東中学校では、10月28日(火)に、「親子一緒にお弁当作り」に取り組まれましたので紹介します。



【開催の目的】

郡上東中学校区では、多くの子が早い時期に親元を離れてひとり暮らしをすることになるため、保育園・小学校・中学校が連携して食育に力を入れています。今回は、「バランスを考えたお弁当を作る」ことを目標に企画しました。

【当日の様子】



生徒たちは「栄養や味つけを親子で相談しながら、楽しく調理できました」と話しながら、弁当を嬉しそうに披露し合っていました。



「親子で、栄養、彩り、好みなどを会話しながら料理ができる良い機会になりました。これから自立していくわが子の心の糧になるといいなと思いました」（保護者の感想より）

「毎日ご飯を作っている家族に感謝したいです」（生徒の感想より）



【取材を終えて】

生徒たちはお弁当作りに向けて、家庭科の授業などでバランスの良い食事や栄養・味つけ・味わって食べることについて学んだ後、各家庭において親子でお弁当を作ってきました。

この活動をきっかけに、親子の絆もさらに深まっていくことを期待しています。

美濃市 かえで保育園 こえだちゃんくらぶ 和紙のしめ飾りを作ろう！

～地域の高齢者とふれ合おう～

美濃市 かえで保育園の未就園児を対象にした「こえだちゃんくらぶ」では、11月5日（水）に「地域の高齢者と一緒に和紙のしめ飾り作り」を開催されましたので、ご紹介します。



【開催の目的】

未就園児親子が地域の高齢者と交流することで、ホッと一息つける場所を提供したいと願って企画しました。

【当日の様子】



まずは親子と高齢者がペアになって、歌ったり踊ったり手作りのおもちゃと一緒に遊ぶなどして仲良くなりました。地域の方は「こんなに小さい子と遊ぶのは久しぶり！」「可愛いなあ」と、目を細めっぱなしでした。



しめ飾り作りでは、和紙の縄をなって輪を作り、そこにいろいろな飾りをつけていきました。

出来上がった手作りのしめ飾りは、いずれも素朴なものばかり。

新年を迎える準備ができましたね！



【取材を終えて】

「こえだちゃんくらぶ」は、保育士が常駐した子育て支援行事を年間27回開催しており、子育ての悩みなども相談することができます。今回のように地域の方々との交流もあり、未就園児親子だけではなく、地域の方々の憩いの場にもなっています。

関市立津保川中学校

SNS講演会＆子育てサロン

～子どもたちのスマホ事情を知って、みんなで話そう～

関市立津保川中学校では、11月6日（木）の参観日にSNS講演会と子育てサロンを開催されましたので、ご紹介します。

【開催の目的】

スマホ等と上手に付き合うことで、生活がより便利で豊かなものになるだけではなく、家庭内の団らんや保護者間の交流を願って企画しました。



【当日の様子】

話が弾んだ魔法のお茶とお菓子



講演は、県職員出前トーク「インターネットの安心・安全利用」を活用。SNSに関わる様々なトラブルと、その対策を紹介されました。



子育てサロンでは、5~6人のグループに分かれて熱心にグループ交流がなされました。

最後に、講師の先生から「ルールづくりとフィルタリング」の説明があり、皆さんは熱心にメモをとってみました。



【取材を終えて】

津保川中学校での子育てサロンの開催は初めてでしたが、多くのPTA会員の皆さんのが参加されました。講演会当日から「メディア コントロール チャレンジ～話そう！語ろう！わが家の約束運動～」の取組も始められました。

今回学んだことを親子で振り返り、各々の家庭でぜひ役立てていただきたいと思います。

郡上市立郡南中学校 赤ちゃんふれあい体験

～命の重みとあたたかさ・柔らかさを実感！～

郡上市立郡南中学校では、3年生を対象に、11月7日（金）のフリー参観日に「赤ちゃんふれあい体験」を開催されましたのでご紹介します。

【開催の目的】

思春期という多感な時期だからこそ「命」の尊さや「子育て」の大切さを感じてほしいという願いを込めて、市の児童家庭課、社会教育課、健康課と連携して企画しました。

【取組の様子】



当日の会場準備やお迎え、受付、案内などすべて中学生が行い、赤ちゃんを迎えるました。
「大事な赤ちゃんとのふれあいの時間です。お互いがお互いを大切にできる時間にしましょう」
社会教育課の服部さんの言葉です。中学生たちは、柔らかな赤ちゃんをそっと抱っこして、愛おしそうに見つめたり、泣いている子を一生懸命にあやしたりしていました。



「親とは進路のことで毎日けんかばかりしていますが、
私もこんなに大切に育ててもらったのですね」
「親が子どもに願うことの一番は『幸せになること』だと
言われました。親への恩返しとして、私も全力で幸せにな
ります！」
中学生の感想です。赤ちゃんを前にして、周りのみんなが笑
顔になっていきました。



【取材を終えて】

この事業は、郡上市において平成20年から実施されており、今回もスタッフとして、市職員9人、美並地区の子育て支援員7人が参加され、市のこの事業への熱意を実感しました。

今後も、子どもたちの健やかな成長や、子育て中の保護者のためにも、この事業が継続して行われることを期待しています。

